

トミカ 自動車工場

ゆきや (2020. 01. 01)



写真① 左手前にあるハンドルを回すと、右側の青いスロープで待っていたミニカーが、下がって来た2番スロープに乗り、上昇して3番へ、続いて4番、5番、6番と乗り移り、最後は大きくスロープを回って裏側へ降りて行きます。

写真② 6番のスロープは、4番と全く同じ構造ですから、同サイズのを、2.5ミリ厚のベニヤ板で作りました。

問題は2番スロープでした。およその形はカタログ写真などで推測できましたが、2番スロープには、独自のメカが2つ必要でした。

写真③ 右側の青いスロープに来たミニカーは2番スロープの手前で一旦停止します。止めるのは赤丸印の爪です。その爪が下がると、ミニカーは2番のスロープに乗り移りますが、緑丸印の爪でストップします。

2番のスロープには、この二つの爪を動かす仕掛けが必要です。

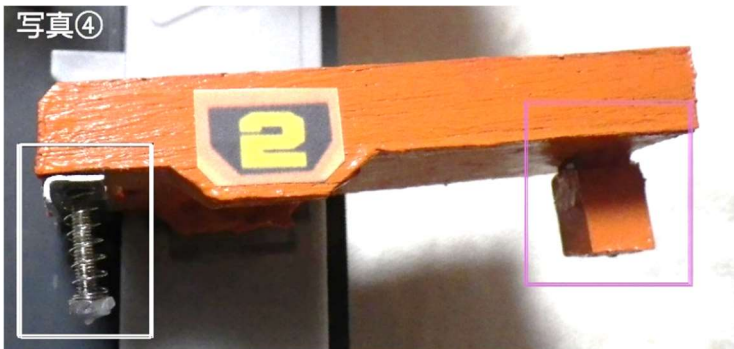
トミカのメカアクション自動車工場の修理依頼が来ました。

6つあるスロープの内、赤丸印の2番と6番が無くなっていました。

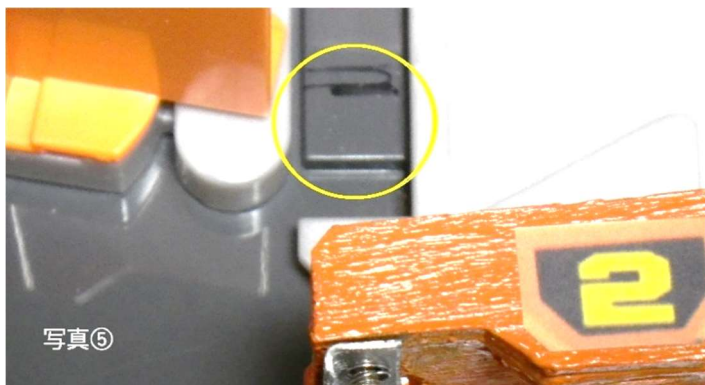
写真①は、修理後のものです。



写真④ その仕掛けを2番スロープの床下に作ってみました。
右端の紫四角印の四角い木片が、下がって来た時に赤丸印の爪を引き下げます。



一方、2番のスロープに乗ったミニカーが上昇して、3番スロープに乗り移る際には、緑丸印の爪が連動して引っ込む必要があります。そのため考えたのが、白四角印のメカです。



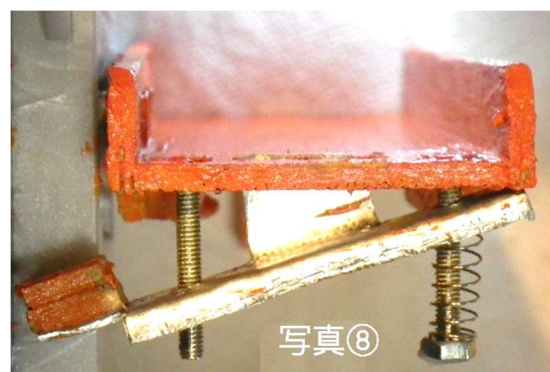
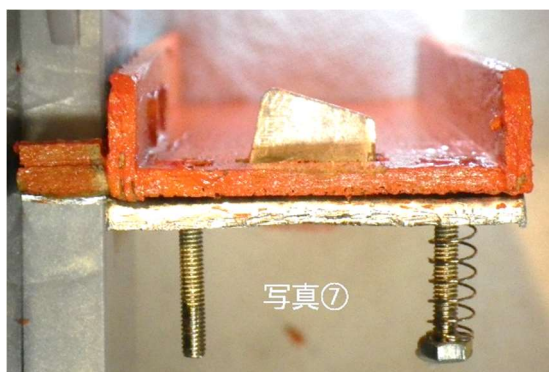
ハンドルを回し続けると、2番のスロープは上昇して3番スロープに接続しますが、その直前に写真の黄丸印の突起があります。(写真⑤) この突起がミニカーを止めていた写真③の緑丸印の爪を押し下げる事になります。そのため仕組みは、どんなものか？

爪とレバーが一体になったものと考えられますが、実物が無いので、想像するしかありません。念のため、ネットで探してみました。メルカリに出ていましたが、この2番スロープはいずれも「SOLD」でした。それだけ需要があるという事でしょうか。ちなみに値段は、一部分欠けたもので500円程でした。写真も何カットかありましたが、肝心のメカの分かるものはありませんでした。



写真⑥ 手前のレバーが、写真⑤の黄丸印の突起に当たって、緑丸印の爪を押し下げる訳です。レバーの下に径の大きなスプリングが入っているのですが、メカがよほどシッカリ出来ていないと、上下にスムーズに動いてくれないでしょう。手作りでは難しそうです。

開き直って、出来そうなメカを考えてみました。写真④の白四角印のメカがそれです。



写真⑦⑧は、2番スロープを前から見た所です。

⑦は車止めの爪が出た状態、⑧は突起に押されて車止めが引っ込んだ状態です。

爪とレバーはアルミ板を切って作りました。

当初はスプリングを左側のビスに付けていて、あまりうまく動いてくれませんでした。

気まぐれに右側のビスに付けてみた所、思いの外にスムーズに動いたので、それに甘えることにしました。(理由は良く分かりませんが)

爪はミニカーを止めるに十分な高さがあり、しかもレバーが下がった時には、きちんと引っ込んでいなくてはなりません。先端は円運動に合わせて斜めにカットしました。

レバーの動き、爪の高さなど、微妙な調整が必要でした。

(写真④の木片も、写真⑧のレバーも、ベニヤを何枚か足しています)

ミニカーがあまりスムーズに走路を下ってくれなかったので、車軸に注油し、走路をシリコンオイルで掃除しました。結果は上々でした。

番号シールの複製



蛇足ですが、スロープには2番と6番のシールを作って貼りました。

残っていた5番のシールをスキャンして、コピーで加工したものです。



手順① 5番のシールをスキャナーでコピーしました。



手順② 5の数字を切り抜いて、上下逆にします。



手順③ それを更に左右逆にすると、2になります。



手順④ 5の数字を黄色と黒色で加工して6にしました。

以上